

ポータルサイトから問い合わせ増加

海外不動産情報を掲載

「ビヨンドポーターズ

海外不動産業を手掛けるビヨンドポーターズ

(東京都新宿区)は、運営する海外不動産ポータルサイト『セカイプロパティ』を経由した資料請求などの月間問い合わせ数が1000件を突破したと11月15日、発表した。

海外40カ国前後の不動産情報が検索可能な同サイトは2017年7月にオープン。マーケティング担当者の配置、Googleなどの検索でトップ表示されるためのSEO対策や広告などのIT戦略

を強化した結果、問い合わせの件数を約1年で100倍近く伸ばすことができた。

同サイトを通じて問い合わせがあった顧客には、ヒアリングを行い、物件の紹介を行う。場合によっては、現地に行き実際の物件状況を見ることもある。契約書など現地とのやりとりも日本語で対応する。

自社で管理し、売却までワンストップで行えるところが同社の強みだ。利回りは7%前後のものが多く、中には3年間の期間限定で7.5%保証

のものもある。

現在、同サイトで一番多く物件が掲載されている国はマレーシアだ。マレーシアには同社の支社

があり、情報も豊富だ。「今後不動産投資市場の伸びが期待されるのはカンボジアのプノンペン。年7%台で伸びており、プノンペンは人口が増加し、インフラ整備も進んでいる。それに伴い、海外からの投資マネーが流入しており、これから相乗効果で伸びていくだろう」と同社の担当者は話す。

同社では、近いうちカンボジア支店を立ち上げる予定。今後はさらに海外での支店を増やしていく計画だ。



「セカイプロパティ」のトップ画面